

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 太陽石油株式会社（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付	BBB
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-2

### ■格付事由

- 石油製品および石油化学製品を製造・販売する独立系の石油元売会社。愛媛県で当社唯一の製油所である四国事業所を操業している。常圧蒸留装置の能力規模は相対的に小さいものの、残留流動接触分解装置や不均化装置などを導入して競争力を高めている。山口事業所でスチレンモノマーを製造していたが、22年12月に同事業の終了を公表した。販売では西日本地域に軸足を置いて SOLATO ブランドの SS を展開している。また、子会社の南西石油を中心に沖縄県で事業拡大を図っている。
- 業績は 24/3 期以降に持ち直す見通しである。定期整備工事の有無や規模、原油および石油化学製品の市況動向などによって当社の業績は変動するものの、安定した国内の石油製品のマージンが業績を支えている。23/3 期は大規模定期整備工事（大定修）や原油価格低下の影響などにより経常赤字となったが、24/3 期以降はそれらのマイナス要素がなくなるとともに、原油価格の上昇が利益を押し上げる見込みである。また、最終赤字によって自己資本が毀損したが、今後は業績の改善に伴って自己資本も回復していくと見られる。カーボンニュートラルに向けた対応や新規事業の取り組みも徐々に進みつつある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3 期経常利益は 214 億円の赤字（前期 507 億円の黒字）と最高益を更新した前期から一転して 3 期ぶりの赤字となった。上半期に大定修によって販売数量が減少したほか、下半期に原油価格が低下し、巨額の在庫評価損を計上した。また、石油化学製品の市況悪化も利益を押し下げた。24/3 期は大定修がなくなることに加え、原油価格の上昇が業績にプラスに影響すると想定される。25/3 期は大定修の前倒し実施が予定されていることから業績が悪化する可能性が高いものの、26/3 期には在庫影響を除く経常利益は増益に転じると考えられる。
- 23/3 期末の DER は 1.2 倍と 22/3 期末の 0.6 倍から悪化した。最終赤字によって自己資本が毀損したことに加え、運転資金の増加などにより有利子負債が増加した。24/3 期以降も有利子負債は現状レベルで推移する見通しであるが、自己資本の回復により財務構成は徐々に改善していくと見られる。

（担当）千種 裕之・水川 雅義

### ■格付対象

発行体：太陽石油株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	500 億円	J-2

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年10月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「石油」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 太陽石油株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル